

Certified Logistics Master Course

物流技術管理士 資格認定講座



2020年10/15(木)~2021年3/26(金)

第143期
大阪開催

本講座の特色

- 企業の物流・ロジスティクスから全体最適を実現するスペシャリストを育成します。
- 実務経験豊富な講師陣の指導の下、専門知識のみならず実務への応用についても学ぶことができます。
- 各講義に、講義内容のポイントを確認する時間を設け、目的意識を醸成します。
- ケーススタディを含めた個人演習・グループ演習を通じ、実践力の強化を図ります。
- 受講レポートや論文の作成を通じて、今後自社で取り組むべき課題や改善施策を検討します。
- 様々な業種、立場の方々との交流を通して、企業の垣根を越えたヒューマンネットワークが構築できます。

第143期 物流技術管理士資格認定講座 開催にあたって

物流・ロジスティクスを取り巻く環境は大きく変化しております。例えば、EC市場の発展に伴い宅配便の取扱個数は高く推移しており、ドライバーをはじめとする深刻な労働力不足が重なり、物流コストを押し上げております。また、ASEAN各国をはじめとした新興国の経済発展は、次なる巨大市場として注目される一方で、更なる競争の激化が予想されます。

これらの問題に対処するためには、サプライチェーン上の各プレイヤーが連携し、物流・ロジスティクスの効率化や高度化を推進していく必要があります。その強力な推進役として、物流・ロジスティクスの専門知識や管理技術を有したスペシャリストが欠かせません。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、物流・ロジスティクスのスペシャリスト育成の場として「物流技術管理士資格認定講座」を内容の改善を図りながら25年以上にわたり開催しております。本講座では実務経験豊かな講師陣から体系的かつ具体的な知識と技法等を学び、個人・グループ演習による応用力、実践力の強化を図るとともに講師、受講者相互のヒューマンネットワークの構築も支援いたします。これまで11,000名を超える物流技術管理士が誕生し、各方面で活躍しております。貴社の企業価値向上に寄与する人材を育成するために、ぜひ本講座を積極的にご活用されることを期待しております。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
能力開発委員会
物流技術管理士専門委員会 委員長
成蹊大学 名誉教授
渡邊 一衛



▶ 物流技術管理士とは

「物流技術管理士」は「物流・ロジスティクスのスペシャリスト」として、複数の物流業務を全体最適の視点から管理し、物流品質の向上や効率化策を実践することや、分析的な手法から物流現場を改善する施策を立案し、実行計画を推進すること等ができる管理者やリーダーです。

【物流技術管理士のあるべき姿】

- ① 物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識や管理技術を有し、実務で活かすことができる。
- ② 現状を把握し、ありたい姿（目標）を描き、そのギャップから問題発見、解決すべき課題を設定することができる。
- ③ 課題を解決するための方策を立案し、関係者の理解を得て、協力しながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
- ④ 全体最適を志向し、幅広い視点で改善策や新たなサービスを企画することができる。
- ⑤ 社内外の関係者や顧客に対し、提案、提言ができる。

▶ 企業における物流技術管理士の役割

荷主企業（製造業、流通業）

- ・ QCD（品質、コスト、納期）の観点から最適な物流ネットワークを設計することができる。
- ・ 社内内の関係部門や他社と連携し、物流コスト削減や在庫の適正化を推進できる。
- ・ 提案依頼書（RFP）を作成し、物流業務の委託先（パートナー）の選定、評価ができる。

物流企業（物流子会社、物流事業者）

- ・ QCD（品質、コスト、納期）に係る定量的な指標を用いて、物流業務を管理することができる。
- ・ 全体最適の視点から業務に取り組み、コスト削減、品質・生産性向上を推進できる。
- ・ 荷主企業の物流実態を適切に分析し、問題点を把握したうえで、適切な品質・コストを踏まえたソリューションを立案、提案することができる。

その他（情報システム業、人材派遣業等）

- ・ コスト削減や品質向上等、顧客企業の物流・ロジスティクスにおけるニーズに的確に対応した製品やサービスを提供することができる。
- ・ 顧客企業の物流・ロジスティクスの実態を分析し、問題解決につながる施策において、新たなサービスや製品を企画・開発をすることができる。

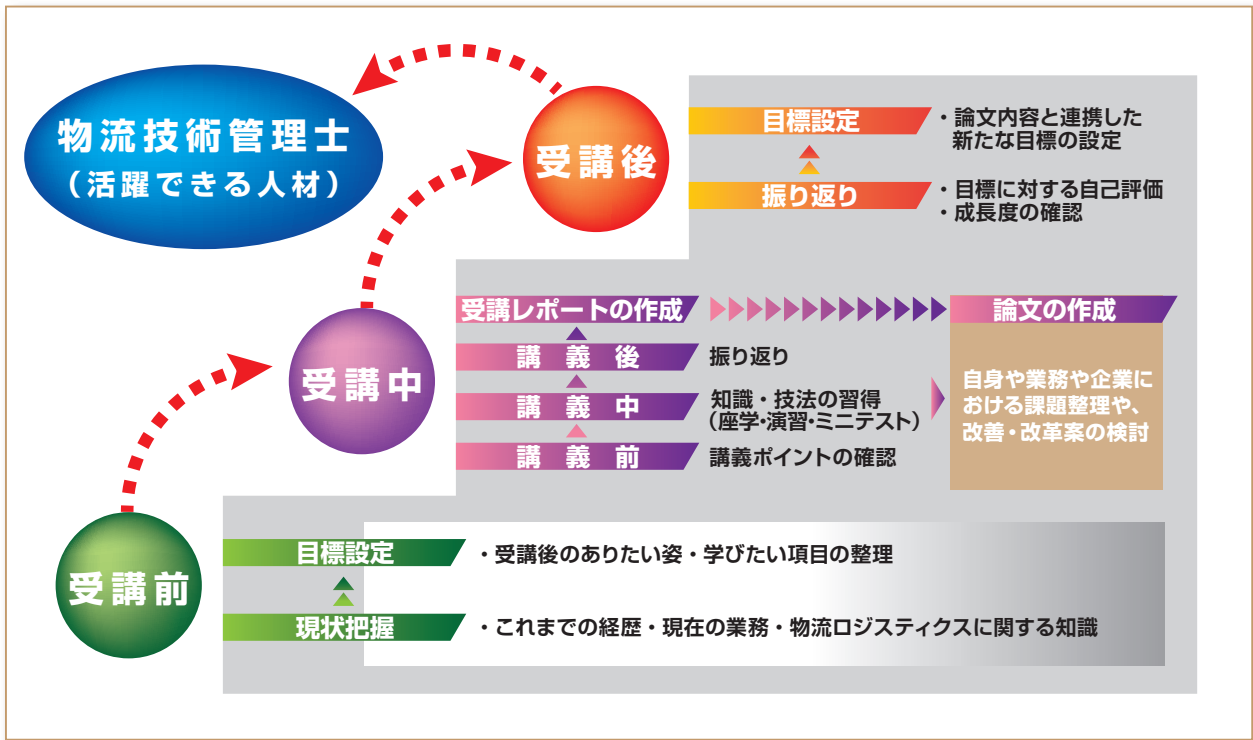
2020年度物流技術管理士資格認定講座開催日程

単 元	開催期 開催場所	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
		東京	大阪	名古屋	東京	大阪
プレミーティング		2020年5月20日(水)	2020年6月3日(水)	2020年9月2日(水)	2020年9月9日(水)	2020年10月15日(木)
		2020年5月21日(木)	2020年6月4日(木)	2020年9月3日(木)	2020年9月10日(木)	2020年10月16日(金)
第1単元		2020年6月4日(木)	2020年6月17日(水)	2020年9月9日(水)	2020年9月16日(水)	2020年10月27日(火)
第2単元		2020年6月5日(金)	2020年6月18日(木)	2020年9月10日(木)	2020年9月17日(木)	2020年10月28日(水)
第3単元		2020年6月16日(火)	2020年7月2日(木)	2020年9月24日(木)	2020年10月13日(火)	2020年11月4日(水)
		2020年6月17日(水)	2020年7月3日(金)	2020年9月25日(金)	2020年10月14日(水)	2020年11月5日(木)
第4単元		2020年6月23日(火)	2020年7月15日(水)	2020年10月6日(火)	2020年10月20日(火)	2020年11月12日(木)
		2020年6月24日(水)	2020年7月16日(木)	2020年10月7日(水)	2020年10月21日(水)	2020年11月13日(金)
第5-6単元		2020年7月7日(火)	2020年7月28日(火)	2020年10月28日(水)	2020年11月11日(水)	2020年12月2日(水)
第6単元		2020年7月8日(水)	2020年7月29日(水)	2020年10月29日(木)	2020年11月12日(木)	2020年12月3日(木)
第7単元		2020年9月8日(火)	2020年8月20日(木)	2020年11月5日(木)	2020年11月25日(水)	2020年12月15日(火)
		2020年9月9日(水)	2020年8月21日(金)	2020年11月6日(金)	2020年11月26日(木)	2020年12月16日(水)
第8単元		2020年9月17日(木)	2020年9月2日(水)	2020年11月19日(木)	2020年12月10日(木)	2021年1月14日(木)
第9-10単元		2020年9月18日(金)	2020年9月3日(木)	2020年11月20日(金)	2020年12月11日(金)	2021年1月15日(金)
第11単元		2020年10月6日(火)	2020年9月10日(木)	2020年12月8日(火)	2021年1月7日(木)	2021年1月21日(木)
第12単元		2020年10月7日(水)	2020年9月11日(金)	2020年12月9日(水)	2021年1月8日(金)	2021年1月22日(金)
第13単元		2020年10月21日(水)	2020年10月8日(木)	2021年1月13日(水)	2021年1月19日(火)	2021年2月4日(木)
		2020年10月22日(木)	2020年10月9日(金)	2021年1月14日(木)	2021年1月20日(水)	2021年2月5日(金)
面接試験		2020年11月14日(土)	2020年11月7日(土)	2021年2月6日(土)	2021年2月13日(土)	2021年2月27日(土)
授与式		2020年12月18日(金)	2020年12月11日(金)	2021年3月12日(金)	2021年3月19日(金)	2021年3月26日(金)

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合がございますので、ご了承ください。

より実務で成果を出していただくために

本講座では、受講者の方が受講前から受講後に至るまで、常に高い目的意識を持ちながら受講し、「自分が掲げた目標を達成する」、「受講後に多方面で活躍できる人材に成長する」等の実現に向けた、仕組みを導入しています。



●カリキュラムの特徴

実務経験豊富な講師陣から学んだ知識や技法を実務で応用するために、「自分自身やメンバー同士で考える」グループ演習、個人演習、ミニテスト等を取り入れています。

資格認定について

- 出席要件について：全講義日数18日のうち、14日以上出席すること。
- レポートについて：前期・後期2回の受講レポートを提出すること。
- 試験について：①客観試験・②論文試験・③面接試験それぞれの得点が合格基準点（6割以上）を満たし、総合得点が60点以上であること。

①客観試験

客観試験とは、講座で学んだ内容の習熟度を測るために実施する筆記試験です。前期・後期の2回に分けて実施されます。試験問題は、講義で学習したポイントとなる内容を中心に、正誤問題、選択問題、穴埋め問題、計算問題等の形式で出題されます。

②論文試験

講座で学んだ内容を活用しながら、5,000字～6,000字の論文を作成します。論文のテーマは自身の業務や企業における改善や改革に関するものとなります。物流・ロジスティクスの全般知識に加えて、第三者の理解を得るための論理的思考力や文章作成力が問われます。また開催期ごとに優れた論文を選定し、優秀論文として表彰を行っています。

③面接試験

作成した論文の内容について、第一線で活躍されている企業人、学識経験者、コンサルタントの方々で構成される物流技術管理士専門委員会の委員2名との面接試験を行います。面接試験では、自身の作成した論文を第三者への説明に説明し、質問に分かりやすく回答するプレゼンテーション能力が問われるとともに、質疑応答を通じて講義内容を踏まえた物流・ロジスティクスの理解度が確認されます。

【各試験の配点 (括弧内は合格基準点)】

客観試験	論文試験	面接試験	減点	総合得点
前期・後期合計 30点満点 (18点以上)	+	40点満点 (24点以上)	+	30点満点 (18点以上)
			-	①欠席減点 ②受講レポート 提出遅延減点
				= 100点満点 (60点以上)

第143期物流技術管理士資格認定講座 カリキュラム

プレミーティング

講座初回の講義となるプレミーティングでは、グループ演習を通じて、問題発見、課題抽出及び課題解決技法について学ぶとともに、受講者間のヒューマンネットワークの構築を図ります。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
10月15日(木)	9:30-18:00 開講式 オリエンテーション グループ演習 問題の発見と解決	オリエンテーションでは、講座の進め方、資格認定規程、論文試験のテーマ等をご説明します ブレインストーミングやKJ法等を用い、問題の発見と現状の把握、要因解析、対策の立案までの進め方と学び、実務で活用いただくことを狙いとしております ※グループ演習では、約10名程度のメンバーでディスカッションを行い、最後に発表を行います ※名刺を多めにご用意ください	中野 昭男 氏 のぞみ経営研究所 代表 (第21期物流技術管理士) 右田 政三 氏 (株)ヨコタエンタープライズ 顧問
	18:30-20:00 ◆懇親会		
10月16日(金)	9:30-17:00 グループ演習 問題の発見と解決、発表・講評		
	17:00-17:10 振り返り 〈プレミーティング〉		

第1単元

経営とロジスティクス

企業の経営環境が大きく変化中、ロジスティクスのさらなる高度化が求められております。本単元では、経営の視点から、ロジスティクスの役割、顧客サービスの考え方及び情報システムの役割・機能等について学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
10月27日(火)	9:30-12:40 1. 企業価値を高める ロジスティクスの役割	物流・ロジスティクスの定義と進化及び重要性、企業価値の向上とロジスティクス活動の関係 等	飯田 正幸 氏 日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
	13:40-15:10 2. ロジスティクスにおける 顧客サービス	企業活動における顧客サービスとは、ロジスティクスにおける顧客サービス項目、これからの顧客サービスの方向性 等	
	15:20-17:40 3. ロジスティクス戦略	これからの経営戦略方向、ロジスティクス改革を実現する視点、ネットワーク再構築における狙いと目的、事例 等	(株)日本能率協会コンサルティング
	17:00-17:10 4. ロジスティクス IT 概論	IT活用の現状・取り組み状況 (IoT、ビッグデータ等)、情報システムの役割、情報システム化のポイント 等	植村 邦夫 氏 (株)ユーロジプランニング 代表取締役

第2単元

物流コスト管理

物流コスト管理は本講座における重要なテーマであり、物流・ロジスティクスの全領域に関わるものです。物流コスト管理全般の知識や物流ABCについて学び、以降の講義にコスト意識も持って臨んでいただきます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
10月28日(水)	9:30-13:00 1. 物流コスト管理概論	なぜ物流コストを把握するのか、物流コストの実態、KPI、物流コストの算定、演習問題 等	藤田 浩二 氏 ロジ・ソリューション(株) 代表取締役社長 (第25期物流士) 岡田 和典 氏 岡田ビジネスディベロップメンツ 代表取締役社長 (株)ZOO LABO 代表取締役社長
	14:00-17:00 2. 物流ABCの活用	物流ABCとは、物流ABC活用手法 等	
	17:00-17:10 振り返り 〈第1・2単元〉		

第3単元

物流拠点管理

物流拠点はロジスティクス戦略を決定する重要な役割を果たします。本単元では、物流拠点の実践的な管理技法や機器、システムについて学ぶとともに、物流拠点配置や庫内レイアウトの考え方をグループ演習で学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
11月4日(水)	9:30-12:30 1. 保管・荷役とマテハン機器	保管・荷役の機能、倉庫の種類、保管・荷役コスト、保管・荷役における改善のポイント 等	川島 賢 氏 鈴木(株) ロジスティクス事業本部 3PL 事業推進室 室長 樋口 聡 氏 NECソリューションイノベータ(株) プロフェッショナルフェロー (第35期物流技術管理士)
	13:30-15:30 2. 物流拠点におけるIT活用	拠点情報システムの役割と目的、導入プロセスとポイント、これからのWMSに求められる機能 等	
	15:40-18:00 3. 生産性と品質管理	物流プロセスにおける生産性・品質KPI、生産性向上の基本的考え方、多能工化のための教育 等	酒井 路朗 氏 エルディーシー研究所 所長
11月5日(木)	9:30-17:00 グループ演習 4. 物流拠点管理演習	物流拠点の役割・機能、流通チャネルと拠点配置、事例紹介、拠点・レイアウト設計演習 等 ※グループを再編成し、新たなメンバーとともにケーススタディに取り組みます	サカウエアハウス(株)
	17:00-17:10 振り返り 〈第3単元〉		

日時		講義名称	講義内容	講師
第4單元		輸配送管理		会場： ハートンホテル 北梅田
本單元では輸配送管理に係わる各輸送モード、運賃体系、関連法規制、運行管理等や輸配送における最新 IT システムについて学んだ後、個人演習を通じて共同配送による効果の算出方法や輸配送システムの構築の考え方について学びます。				
11月12日(木)	9:30-14:50	1. 輸配送管理概論	輸送モードの特徴、物流の共同化、モーダルシフト、運賃・料金体系、輸送関連の法制度 等	興村 徹 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 副所長
	15:00-17:30	2. 輸配送における IT 活用	輸送モード別 IT 活用の概要、支援技術、配車管理・運行管理・動態管理 等	菊谷 勝利 氏 SG システム(株) 参与 (第 82 期物流技術管理士)
11月13日(金)	9:30-16:30	個人演習 3. 輸配送システムの構築演習	輸配送システム構築のポイント、共同輸配送、クロスドッキング 等	坂 直登 氏 坂技術士事務所 代表
	16:30-16:40	振り返り 〈第4單元〉		
第5單元		包装技術		会場： ハートンホテル 北梅田
包装は、サプライチェーン全体に深く関わっています。本單元では包装の目的や機能といった基本からロジスティクスにおける包装のあり方等幅広く学びます。				
12月2日(水)	9:30-12:30	1. 包装技術概論	包装の機能と役割、包装起因の主要コスト要素、物流改善技法／デザイン・フォー・ロジスティクス 等	北山 義弘 氏 (同) 北山コンサルティング 代表
第6單元		物流現場改善		会場： ハートンホテル 北梅田
物流業務の現状把握・分析・評価・改善をするためには、科学的管理技法の活用が有効です。本單元では、VA、IE、OR、QC といった科学的管理技法の基礎や物流現場における実践的な改善技法について、講義や演習を通じて学びます。				
12月2日(水)	13:30-17:30	1. 科学的管理技法概論	管理技術とは、科学的管理技法 (VA、IE、OR、QC) 等	渡邊 一衛 氏 成蹊大学 名誉教授
	17:30-18:00	論文作成のポイント	講座初日のオリエンテーション時に出題した論文試験について、審査のポイントや良い論文例の説明を行います	
12月3日(木)	9:30-16:30	個人演習 2. 物流現場の改善技法	「問題」を知る、分析手法 (稼働分析、ワークサンプリング、R-f 分析等)、物流改善の技法、改善事例 等	(株)日本能率協会コンサルティング
	16:30-17:10	論文の作成に関する説明	論文の作成要領の再確認や注意すべきポイントの説明等を行います	事務局
	17:10-17:20	振り返り 〈第5・6單元〉		
第7單元		総合演習 I		会場： ハートンホテル 北梅田
グループに分かれてケーススタディに取り組みます。架空企業の物流現場における輸配送や荷役作業、在庫管理等様々な問題点を分析し、改善策を検討することで業務改善や課題解決に取り組む際の実践力の強化を目指します。				
12月15日(火)	9:30-10:30	前期客観試験	前半講義 (第 1～第 6 單元) の講義の理解度を確認します	事務局
	11:00-17:30	グループ演習 物流改善演習	架空企業の物流現場における、輸配送・在庫・荷役作業の問題点の整理や課題抽出等を行います	(株)日本能率協会コンサルティング
12月16日(水)	9:30-17:00			
	17:00-17:10	振り返り 〈第7單元〉		

第8單元 在庫管理とSCM

商品ライフサイクルの短縮化やサプライチェーンのグローバル化に伴い、企業経営における在庫管理の重要性は高まっています。本單元では、在庫管理やSCMについて、理論と実践の両面から学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
2021年 1月14日(木)	9:30-12:00	1. 在庫管理とSCM概論	競争力強化・収益最大化に向けたオペレーションマネジメントとは、在庫管理、制約条件の理論と全体最適化指向等
	13:00-16:00	2. 在庫管理の実務	在庫管理とは何をすることか、適正在庫を維持する取組み、効果の見方等
	16:10-17:40	3. SCMの実務	実務におけるSCMの姿、SCMのモデル、SCMを的確に運用するための管理のあり方、SCMの課題等
			鈴木 定省 氏 東京工業大学 工学院 経営工学系 准教授
			芝田 稔子 氏 (株)湯浅コンサルティング コンサルタント
			石川 和幸 氏 (株)サステナビリティコンサルティング 代表取締役

第9單元 グリーンロジスティクス

本單元では、ロジスティクス分野における環境問題を俯瞰し、法制度や行政の動向、環境負荷低減方策等包括的に学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
1月15日(金)	9:30-11:00	1. グリーンロジスティクス概論①	物流と環境問題の関係、行政施策の紹介、企業における環境問題への取り組み、環境問題への取り組み段階等
	11:10-12:40	2. グリーンロジスティクス概論②	環境問題と環境負荷指標、物流分野の環境対策、取り組み・連携事例の紹介等
			矢野 裕児 氏 流通経済大学 流通情報学部 教授
			北條 英 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 所長

第10單元 グローバルロジスティクス

市場のグローバル化が進展する中で、わが国企業が競争優位を確立するためには、グローバルレベルで最適なロジスティクスの構築が重要となります。本單元では、グローバルロジスティクスの概論、国際物流の基礎知識について学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
1月15日(金)	13:40-16:40	1. グローバルロジスティクス概論	国際間輸送の主要モード、海上輸送・インターモーダル輸送における輸出入諸手続き等
	16:40-16:50	振り返り 〈第8・9・10單元〉	
			田阪 幹雄 氏 (株)日通総合研究所 リサーチフェロー

第11單元 物流アウトソーシングと3PL

物流・ロジスティクス関連業務のアウトソーシング化が進む中で、最適なロジスティクスの構築・運用を図るためには、企業間の連携が重要です。本單元では、物流アウトソーシングの目的、3PL企業の役割及び契約のポイント等について学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
1月21日(木)	9:30-17:00	1. 物流アウトソーシング、3PL	物流アウトソーシングの目的、3PLとは、アウトソーシングと3PL、3PLプロバイダーの特徴等
		2. 3PLと契約	契約の重要性、委託側・受託側のポイント、RFP、契約書の内容、サービス保証等
	17:00-17:20	論文の提出に関する説明	提出前のチェック項目、提出要領等を説明します
			寺内 石一 氏 (株)フリーロケーション 代表取締役
			事務局

第12單元 ロジスティクスの社会的役割

ロジスティクスは経営活動や国民生活を支える社会基盤としての役割も担います。本單元では、それらと密接に関連するCSR、標準化及び行政の動向について学びます。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
1月22日(金)	9:30-14:10	1. CSR	CSRとは、物流関連法規・下請法・独禁法・労働者派遣法等の説明等
			危機管理とリスクマネジメント、災害とロジスティクス、BCPとは、BCP策定のポイント等
	14:20-15:30	2. 標準化	標準化の意義と方法、JISと標準化、物流標準化の今後、国際標準化の問題点・課題・対策、ユニットロードシステム等
	15:40-17:10	3. 行政の動向	物流と取り巻く現状、総合物流施策大綱、物流政策の紹介等
			長谷川 雅行 氏 (株)日通総合研究所 経済研究部 顧問
			近畿経済産業局 近畿運輸局
		振り返り 〈第11・12單元〉	

第13単元

総合演習Ⅱ

グループに分かれてケーススタディに取り組みます。架空の3PL会社の担当者の立場となって、赤字を出している受託現場の改革を行ないます。講座で学んだ知識や技法を活用して、さまざまなアプローチから検討をすることで、この講座の受講成果を測ります。

会場：
ハートンホテル
北梅田

日時	講義名称	講義内容	講師
2月4日(木)	9:30-10:30 後期客観試験	後半講義（第7～第12単元）の講義の理解度を確認します	事務局
	11:00-18:00 グループ演習 物流改革演習	架空企業の担当者の立場となって、赤字を出している現場の改革を行います ※プレミーティング時のグループ編成で、自身や他メンバーの成長を確認しつつ、課題解決を図ります	㈱ロジスティクス・サポート & パートナース
2月5日(金)	9:30-17:00		
	17:00-17:10 振り返り <第13単元>		

面接試験

2月27日(土)

10:00-17:00

1名 15分程度の面接

会場:大阪市内

資格認定証授与式・懇親会

3月26日(金)

15:00-17:30

資格認定証の授与 等

会場:ハートンホテル北梅田

資格取得者の声

- 業務との両立は大変だと思いますが、今後の業務に役立つ講義もたくさんありますので機会があれば是非参加してみてください。(製造業、物流経験8年)
- 物流の知識だけでなく、他企業の受講者の考えや意見を聞くことが出来、人脈も作れます。(物流子会社、物流経験8年)
- ロジスティクスに関して集中的に知識のインプットが行なえ、また論文作成の課程で自身のキャリアや業務について掘り下げることができ視野を広げることができます。(卸売業、物流経験12年)
- 物流に携わっているのであれば、是非受講していただきたいと思いますが、問題解決技法等物流以外にも役立つ知識や経験ができます。ご自身のスキルアップのためにも良い講座だと思います。(物流事業者、物流経験10年)
- 物流技術管理士の講座を受講することで、知識として知っていること、聞いたことがあることが、一歩進んだかたちで自己の力になると思います。是非受講して自己啓発におすすめていたします。(物流事業者、物流経験20年)



本講座に関する以下の情報をWEBに掲載しています。

- ・2018年度「物流技術管理士」資格取得者所属企業一覧
- ・「物流技術管理士」資格取得者からのメッセージ
- ※2018年度資格取得者数:383名(204社)
- ・講座での成果(優秀論文)のご紹介 など

www.l.logistics.or.jp または「JILS」で検索

トップ



資格講座・セミナー



資格認定講座

物流技術管理士専門委員会 委員一覧

(2020年3月現在。順不同、敬称略)

委員長	渡邊 一衛	成蹊大学 名誉教授	委員	秋葉 淳一	㈱フレームワークス 代表取締役社長 CEO
副委員長	小野 義	ロジ企画 ONO 代表	〃	伊藤 秀行	㈱ピー・アイ物流企画 代表取締役
〃	右田 政三	㈱ヨコタエンタープライズ 顧問	〃	鈴木 三弘	サクラパックス㈱ 経営企画本部 ロジスティクス推進室 室長
委員	興村 徹	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 副所長	〃	丹下 博文	愛知学院大学 大学院 経営学研究科 教授
〃	上村 聖	城西大学 経営学部 経営学研究科 教授	〃	辻 公	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー
〃	黒坂 真一	元㈱中央ロジスティクス(現㈱ヤマネロジスティクス) 運輸事業本部 企画部 シニア・コンサルタント	〃	津田 博	近畿大学 経営学部 教授 経営学科長
〃	酒井 路朗	エルディーシー研究所 所長	〃	秋田 直也	神戸大学 大学院 海事科学研究科 准教授
〃	重田 靖男	㈱東京ロジスティクス研究所 顧問	〃	泉 康一	㈱山星屋 物流システム部 部長
〃	坂 直登	坂技術士事務所 代表	〃	岸本 保典	㈱ケー・シー・エス 取締役 営業推進部 部長
〃	丸山 正晃	KPMGコンサルティング㈱ パートナー ストラテジー&オペレーション兼九州地区統括パートナー	〃	佐久間 慎二	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー
〃	矢野 裕児	流通経済大学 流通情報学部 教授	〃	寺内 石一	㈱フリーロケーション 代表取締役
〃	山田 登	海外調達支援&物流改革研究所 所長	〃	浜崎 章洋	大阪産業大学 経営学部 商学科 教授
〃	山根 六三郎	シンク・テック・サービス㈱ 代表取締役	〃	深澤 一紀	㈱サーガ 代表取締役
〃	湯浅 和夫	㈱湯浅コンサルティング 代表取締役社長	〃	三村 光昭	Office MIMURA 代表
〃	吉原 和彦	㈱ロジスティクス・サポート&パートナーズ 代表取締役	〃	弥谷 恵太郎	元ハリマ共和物産㈱ 非常勤監査役
			〃	山名 良幸	鴻池運輸㈱ 西日本支店 総務部 部長

受講申込書

申込FAX:06-4797-2071

受講申込規程

受講料 ※ご入会につきましては、お申し込み前に事務局までお問い合わせください。

日本ロジスティクスシステム協会会員	受講料 450,000円 +消費税/1名
上記会員外	受講料 550,000円 +消費税/1名

●有資格者優待

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にて受講いただけます。
 該当する方は受講申込書の有資格欄に資格名称をご記載ください。
 (対象:物流技術管理士補、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流現場改善士)
 ◆日本ロジスティクスシステム協会会員 …… 受講料400,000円+消費税/1名
 ◆上記会員外 …… 受講料500,000円+消費税/1名

受講料に含まれるもの

- テキスト、資料代
- 審査料

受講対象

物流に関する基本的な用語を理解している方
 (目安として、物流実務経験2年程度)
 もしくは物流技術管理士補の有資格者。

受講定員

70名

(注) 昼食費は含まれておりません。

受講申込方法

- WEBまたはFAXで受け付けています。

WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。
[トップ](#) → [資格講座・セミナー](#) → [資格認定講座](#) → [物流技術管理士資格認定講座](#)
 ※当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。
 ※QRコード読み取り機能のあるスマートフォンをお持ちの方は右記QRコードを読み込みアクセスすることもできます。
 ※QRコードは画面の傷、汚れ、光の反射等によって読み取れない場合があります。
 ※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



FAXの場合

- 下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
- 「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- 本講座の受け付けは、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。お申し込みありがとうございます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

受講料支払い方法

- 請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。
 (開催後になる場合は、入金予定日を受講申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料は、お客様にてご負担願います。

【お願い】

- 受講予定の方のご都合が悪い場合は、全単元を代理の方が受講ください。なお、代理の方のご受講も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
 (注)キャンセルは、FAXでのご連絡のみ申し受けます。

【キャンセル規定】

開催30日前～15日前(開催日初日を含まず起算)	……受講料の10%
開催14日前～8日前	……受講料の20%
開催7日前～前々日	……受講料の30%
開催前日および当日	……受講料の全額

※キャンセル料は原則として消費税を除く受講料をもとに計算

ご注意

- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はしておりません。
- カメラ、録音機等の持込みはご遠慮ください。

受講申込先・プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
 〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19F
 TEL:06-4797-2070 FAX:06-4797-2071

会場案内

ハートンホテル北梅田
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-12-10 TEL:06-6377-0810
 阪急梅田駅茶屋町口より徒歩約4分
 地下鉄御堂筋線中津駅より徒歩約2分

個人情報の取り扱いについて

日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。
 詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)
 をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

●第143期(10月大阪開催) 物流技術管理士資格認定講座●		KA2005
(フリガナ) ()	<input type="checkbox"/> 会員	支払予定日(開催後になる場合はご記入をお願いいたします)
会社・事業所名	<input type="checkbox"/> 会員外	月 日 支払予定
(フリガナ) ()	所属・役職名	
派遣責任者		
勤務先住所 〒 -	TEL: - -	
	FAX: - -	
	E-mail:	
(フリガナ) ()	所属・役職名	
受講者1		
勤務先住所 〒 -	TEL: - -	受付NO
	FAX: - -	
物流実務経験(年) <input type="checkbox"/> 有資格(資格名称:)	E-mail:	
(フリガナ) ()	所属・役職名	
受講者2		
勤務先住所 〒 -	TEL: - -	受付NO
	FAX: - -	
物流実務経験(年) <input type="checkbox"/> 有資格(資格名称:)	E-mail:	
名	円	※請求書は原則として合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。 その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求番号